

ローターアクト委員会
副委員長

池田 佳弘

(大阪梅田R C)

私は、昨年10月31日から11月4日まで、毎年実施されています地区RAC海外研修に参加しました。当地区のローターアクター24名、地区ローターアクト委員会より辻本前委員長と私が参加し、総勢26名で、R I 第3400地区（インドネシア）のバリ島を訪れました。

31日は関西国際空港を午後6時に出発し、バリ・デンパサール国際空港に到着したのは現地時間深夜11時半、ホテル到着が午前1時を過ぎており、初日は移動だけで終わりました。

2日目、われわれはバスに3時間以上揺られ、山間部にあるバトゥカルというところに行き、現地のローターアクターとともに植樹を行いました。現地は熱帯雨林であり、樹木がうっそうと茂るジャングルなのですが、木材の伐採もかなりされており、その森林の保護のため、伐採した木と同じ数の木を植えなければならないとされており、植樹した木は、熱帯雨林気候により3～5年で伐

採できるまで育つとのことで、バリの豊かな気候に感心致しました。

現地では、第3400地区のバリにあるRACからローターアクター10数人の他、第3400地区のGEもウェルカムパーティーに参加して頂き、光栄の至りでした。

翌日以降は、ヒンドゥー寺院の観光や、バリ伝統芸能の鑑賞など、バリの歴史や文化に触れることができました。

ローターアクト委員として、いつも思うことですが、彼らの若さとバイタリティには感心させられます。今回の海外研修でも、それが遺憾なく発揮され、現地のローターアクターとの交流も和やかに盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。また、帰国後の解団式の様子を見て、彼らはこの研修を通じて、得難いものを得たものと確信しました。

